



EICMA 2017:ボッシュが形づくる二輪車の未来 ボッシュのモーターサイクル&パワースポーツ事業は 市場の2倍のペースで成長中

2017年11月6日
PI 9849 BBM IEh/af

- ▶ ボッシュ取締役会メンバーのディルク・ホーアイゼル:「都市化や環境への配慮などのメガトレンドが契機となって、未来のモビリティと二輪車のあり方は今日私たちが知っているものから根本的に変化するでしょう」
- ▶ ボッシュは二輪車関連テクノロジーで10億ユーロの売上高達成を目指す
- ▶ ボッシュのテクノロジーが将来のニーズに即した二輪車を創り出す:第一に安全性の向上、次にパワートレインの効率化
- ▶ 小さな巨人:ボッシュの小型電気車両向けパワートレインシステムは、車両メーカーと大都市の電動二輪車ユーザーにとってよりシンプルな構造とより高い費用対効果を実現

ミラノ –「都市化や環境への配慮などのメガトレンドが契機となって、未来のモビリティと二輪車のあり方は今日私たちが知っているものから根本的に変化するでしょう。ボッシュのテクノロジーが将来のニーズに即した二輪車を創ります。第一に安全性の向上、次にパワートレインの効率化です」とボッシュ取締役会メンバーのディルク・ホーアイゼルは述べています。ボッシュが掲げる未来のモビリティのビジョン「Accident-free (交通事故のない)、Stress-free (ストレスのない)、そして Emission-free (排出ガスのない)」はそのまま二輪車にも当てはまります。

新興成長市場では重要な交通手段のひとつとして、また先進国の大都市圏ではマルチモーダルモビリティの構成要素としてというように、様々なニーズに適した二輪車の需要は増加を続けています。2021年までに、世界の二輪車の生産は約1億6,000万台と、現在よりも3分の1程度増加する見込みです。このことは、二輪車テクノロジーが私たちのビジネスにとって重要な成長要因になることを意味します。横浜に拠点を置くボッシュのモーターサイクル&パワースポーツ事業部門は、世界の主要な二輪車市場、パワースポーツ市場で躍進を続けています。当事業部門の今年の売上高は前年比20%を超えるペースで成長し、これは市場の成長率の2倍に当たります。2020年までに、ボッシュは二輪車テクノロジーで10億ユーロの売上高達成を目指します。二輪車とパワースポーツ車両向けにボッシュが提供するの、アシスタンスシステム、ネットワーク化ソリューション、そして最新のパワートレインと電動化システムです。

ネットワーク化:ライディングにおける安全性の進化のための次なるステップ

ポッシュが掲げる目標のひとつは、ライディングにおける Accident-free (交通事故のない)の実現です。業界初の eBike 用アンチロック ブレーキ システム (ABS) の量産開始により、ポッシュの二輪車向けアシスタンスシステムのサクセスストーリーに新しいページが書き加えられました。ブレーキをかけてから停止するまでの距離が短縮されるだけでなく、ハンドルバー越しにライダーの体が前方に投げ出される危険を低減します。ポッシュの事故調査分析によると、すべての eBike に ABS システムが標準装備されていれば、eBike の事故件数を 4 分の 1 程度減らせる見込みです。二輪車テクノロジーの世界的なリーディングサプライヤーとして、ポッシュは二輪車向けの ABS、MSC (モーターサイクル用スタビリティコントロール)、サイドビュー アシストなどのテクノロジーを市場に投入し、市場の確立に尽力してきました。もちろん、より安全なライディングを実現するための革新的なテクノロジーの開発は続きます。「私たちが目指すのは、ネットワーク化を活用し、事故の発生を未然に防ぐことです」。ホーアイゼルはこのように述べ、「四輪車の分野では、自動運転とネットワーク化が驚くほどのスピードで進展しています。二輪車が未来のモビリティに関連した課題を克服しようとするなら、四輪車と同様の技術を取り入れていく必要があります」と語りました。

そこでポッシュは、二輪車が他の車両やインフラ、その他の道路利用者全般と通信し、ライダーの安全性向上に貢献するネットワーク化システムの開発に取り組んでいます。それにより、路上を走行する二輪車と四輪車が相互に通信できるようになります。この技術により、四輪車のドライバーは、自身や車載センサーが二輪車の姿を捉えるよりもずっと以前に二輪車が接近していることを知ることが可能になり、事故を未然に防ぐことができます。ネットワーク化により、ライダーの安全性向上に寄与するもうひとつのソリューションがコネクテッドホライズンです。ライダーは次のコーナーの先に隠れた危険に対する警告を早期に受け取ることができるようになります。2025 年までに全世界で新規登録される二輪車の 70%以上がネットワーク化される見通しです。

小さなサイズ、大きなインパクト

ポッシュが開発が加速しているのはネットワーク化ソリューションだけではありません。e モビリティも同様です。今後数年間で、電動スクーターなどを含む小型電気車両市場は約 40%成長すると予測されています。複数の調査報告書が、2020 年までにこれらの車両が約 1 億台生産されると予測しています。「小型車の電動化はさらに急速に進展する見通しです。小型電気車両には全世界で明るい未来が待ち構えています」(ホーアイゼル)。そうした予測に基づき、ポッシュは、小型の四輪車、三輪車、そして Govecs の eSchwalbe や AIMA の電動スクーターといった様々な二輪車に使用できる、拡張性の高いパワートレインシステムを開発しました。システムはモーター、コントロールユニット、バッテリー、充電器、ヒューマン マシン インターフェース (HMI) を採用したディスプレイ、コネクティビティボックス、そしてライダーのスマートフォンと車両をつなぐインタラクティブなアプリで構成されます。ポッシュの電動パワートレインソリューションは 0.25~20 kW 出力の幅広い車両タイプで拡張可能です。ポッシュの総合的なシステムソリューションはより容易に統合でき、車両メーカーは開発のための労力を節減できます。システムの複雑性、バリエーション数、そして高い費用対効果が可能にな

り、車両メーカー、そして大都市の電動二輪車ユーザーにメリットをもたらします。利点がもうひとつあります。それは、小型車は排気ガスが少ないだけでなく、音も静かなことです。

ボッシュは e モビリティ関連の開発に注力する一方で、内燃機関の効率を改善するエンジン制御ソリューションの開発も続けています。それにより、二輪車やパワースポーツ車両が、欧州における Euro 5 やインドにおける BS 6 (バラートステージ) などの新たな排ガス基準を満たし、CO₂ 排出量を減らしつつ、機能性と性能のさらなる向上に対する要求を満たします。

EICMA 2017 会場でボッシュをご体験ください: スマートなアシスタンスシステムから、ネットワーク化ソリューション、そしてパワートレインのための新しいエネルギーまで、ボッシュは未来の二輪車とパワースポーツ車両のための数々のソリューションを用意しています。EICMA 2017 の 13 号ホール、G62 ブースで、ボッシュは、これら 3 つのジャンルの最新ソリューションを紹介します。

詳細情報:

<http://www.bosch-mobility-solutions.com/en/company/trade-fairs-and-events/eicma>

報道用画像:

#454628, #535593, #535594, #535654, #535655, #535657, #535658, #535659, #536141, #1087957, #1087962, #1087963, #1126592, #1126593, #1126595, #1138254, #1138256, #1138682, #1138683, #1-CC-21780

報道関係対応窓口:

ドイツ:

Inga Ehret

電話: +49 711 811-16476

イタリア:

Marco Gardenale

電話: +39 02 36962511

世界のボッシュ・グループ概要

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2016年の売上高は439億ユーロで、総売上高の60%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズは、自動化、電動化、ネットワーク化の3つの領域においてグループの専門知識を統合させ、お客様にトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle (車車間)およびVehicle-to-Infrastructure (路車間)通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2016年の従業員数は約39万人(2016年12月31日現在)、売上高は731億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社450社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界120の拠点で約5万9,000人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業者であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)